

ロブテックスは NASCAR ドライバー 古賀琢麻選手を応援しています

私どもロブテックスは、2018年1月に古賀琢麻選手とスポンサー契約を結びました。古賀選手は2005年度、NASCARシリーズ「Grand National Division」に日本人初のフル参戦を果たし、アメリカを主戦場として活躍中。2018年度の熱き戦いを当社も全力でサポートしています。そんな古賀選手に当社の製品について伺いました。



NASCAR では、どの工具をお使いでしょうか

NASCARはリベットを多用して組み付けられているので、特にエアリーベッターは大活躍しています。

僕の所属する JOHN KREBS RACINGは40年以上の歴史あるNASCARチームなので、レーシングカーに関する工具は全て揃っている中でも、LOBSTER TOOLSの工具はエアリーベッターのみならず、軽くてホールド感が桁違いに良いと大好評です。

お気に入りの工具はありますか

レース中はポケットモンキを装備しています。NASCARは、モータースポーツの中でも最もアグレッシブなレースで接触等がよくあります。

その際にミラー等が衝撃で緩みやすいので、コックピットからでも自分が締め治せるように常備しています。NASCARマシンのコックピットは、ロールバーがジャングルジムのように組まれているため非常に作業性が悪いのですが、LOBSTER TOOLSのモンキレンチはフィット感が良いので助かっています。

エビ印工具の魅力はどこでしょうか

軽さと工具の重心が秀逸なので、整備性の悪いレーシングカーを作業する際には、他の工具とは格段に効率よくメカニックが作業できています。

今後の古賀選手の活動予定について教えてください

2018年度はロブテックス様にサポートいただき、アメリカを舞台に「NASCAR K&N PRO SERIES」に参戦しています。僕はNASCARの世界で成功することだけを信じてレースをしているので、今後も応援をよろしくお願いします！



KOGA TAKUMA 古賀琢麻

1977年生まれ。愛知県名古屋出身。シボレーレーシング所属レーシングドライバー。株式会社アイロック代表取締役。

幼稚園の頃からひたすらレースのことを考え、12歳で「レーシングカートに乗る！お金は自分で稼ぐ！」と決めた古賀少年は、10歳から新聞配達のアリバイトをして資金を貯蓄。12歳でライセンスを取得、カートを購入して、自らの手でレース参戦の夢を掴み取りました。

高校・整備の専門学校時代も、資金調達のためアルバイト漬け。その後、働き始めた会社からスポンサーを受けられるようになったが、「ナスカレーサーを目指そう！」と思い立ち、単身アメリカに飛び立ちました。

2000年度からNASCARシリーズに参戦。初年度はNASCAR Weekly Racing Seriesに参戦し、最もアグレッシブだったドライバーに与えられるハードチャージャーアワードを受賞。2005年度には、

NASCARシリーズ Grand National Divisionに日本人で初のフル参戦を果たし、全米オールスター戦にも出場。2008年にレーサーを退き、会社を設立して事業を展開。2009年度からは、GOODYEARレーシングでの、NASCAR用タイヤの開発ドライバーを担当しました。そして2016年度、NASCARに復帰。2018年度もNASCAR K&N PRO SERIESにフル参戦しています。

レース歴

- 1992～1998 レーシングカート
- 2000 NASCAR WEEKLY RACING SERIES (ハードチャージャーアワード受賞)
- 2001 NASCAR RAYBESTOS NORTHWEST SERIES
- 2002 Winston west
- 2003 Winston west
- 2004 Grand National Division
- 2005 Grand National Division 全米オールスター戦出場
- 2006 Grand National Division
- 2007 WEST COAST PRO TRUCKS 年間シリーズランキング3位
- 2008 WEST COAST PRO TRUCKS 年間シリーズランキング3位
- 2009～ NASCAR タイヤ開発テストドライバー
- 2016 NASCAR K&N PRO SERIES
- 2017 NASCAR K&N PRO SERIES フル参戦
- 2018 NASCAR K&N PRO SERIES フル参戦

